

会議結果（要旨）

会 議 名	令和2年度第3回音更町障がい福祉計画等推進委員会
開 催 日 時	令和2年11月16日（月）午後6時30分から午後7時25分まで
開 催 場 所	音更町役場3階301・302会議室
委 員 出 席 者	市野委員、鶴飼委員、内田委員、裏南委員、栗林委員、古川委員、佐々木委員、佐藤委員、白木委員、只野委員、田中委員、原見委員、古谷委員、皆川委員
事 務 局 出 席 者	重松保健福祉部長、高橋福祉課長、川村障がい福祉係長
傍 聴 者 数	1人
議 題 ・ 諮 問 内 容	(1) 現計画の最終評価の決定について (2) おとふけ障がい福祉総合プラン2021に係る作業部会案について (3) 今後のスケジュールについて
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	(1) 現計画の最終評価の決定について 自己評価のとおり決定する。 (2) おとふけ障がい福祉総合プラン2021に係る作業部会案について 作業部会案のとおり承認し、素案として今後の手続を進めていくこととなる。 (3) 今後のスケジュールが確認される。
出された主な意見等	<p>< (1) に関する主な質疑・意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (2) の③のNo7の施策の関係で避難行動要支援者台帳について、潜在的な対象者もいると思うが、その辺はどうなっているか。 → 要配慮者が約8,000人いて、民生委員が対象家庭を訪問し登録に同意を得られた人が3,817人いるという状況である。 ○ そういう状況において避難所の確保等の面で不都合なことは起きないか。 → 各町内会ごとに指定された場所に避難していただくことが基本になるが、名簿に登録された人のうち、自力で避難できない人がいる。このため、町内会や自主防災組織等と協力しながら、そうした人の避難所までの移動方法等を検討し、個別に計画を策定する必要があるが、全ての対象者分の計画ができていないため、防災部局とも連携しながら策定に向けた取組を進めていきたい。 ○ 自分の町内会では、台帳の登録の取りまとめを回覧板で行っていたが、障がい等の情報が各家庭に回覧されてしまうため、自分は登録しなかった。個人情報保護の観点から適切な方法ではないと思う。 → そういう取扱いは適切ではないと考えられるため、担当課にも実態等を確認しながら、是正する方向で内部調整したい。 <p>< (2) に関する主な質疑・意見 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 8050問題など、ひきこもりが全国的な問題になっているが、音更町の取組状況はどうなっているか。 → 今年4月から第2・第4火曜日の月2回、社会福祉士に委託してひきこもりの相談窓口を開設しており、16件程度の相談を受けている。また、ご家族からの相談が大半であることから、ご家族を対象にした茶話会も1回開催している。大変好評であったことから、2月くらいに2回目を開催する方向で調整しており、そういうものも取り入れ

	<p>ながら、次年度以降もひきこもり対策を進めていきたい。</p> <p>○ICTを活用した手続は、だんだん普及していくと思うが、高齢者や初心者にもわかりやすい取扱方法をしっかりと周知していく必要がある。</p> <p>○役場の担当課に相談すると懇切丁寧に対応してくれるが、そもそも困ったときにどこに相談したらよいかのかがわかりにくいので、その点をしっかりと周知したり、総合窓口みたいなものの導入も検討する必要がある。</p> <p>→H22年頃から町民課にワンストップ窓口を導入し、お客さんの要件に合わせて、担当者がそれぞれ窓口に来て対応する仕組みがあるが、ご意見を踏まえて、福祉分野でそういう仕組みが導入できるかを引き続き検討させていただきたい。また、周知については、広報、ホームページ、新聞媒体等でこれまで行ってきたが、チラシを作成してみたり、SNSも普及してきているので、ラインなどの活用も視野に入れ、幅広い手段を用いて周知していけるよう今後検討していきたい。</p>
お 問 合 せ 先	保健福祉部福祉課障がい福祉係（内線514）